

仕様1

仕様

項目	単位	FU-T3 *シリーズ				
		FU-T3 300	FU-T3 500	FU-T3 750	FU-T3 1000	
出力容量 皮相電力/有効電力 (注1)	kVA / kW	30/27	50/45	75/67.5	100/90	
方式	運転方式	商用同期常時インバータ給電				
	冷却方式	強制空冷				
	入力整流方式 (注2)	高力率コンバータ				
	インバータ方式 (注2)	高周波PWM、瞬時波形制御				
交流入力	相数・線数	三相3線				
	電圧	200/210/220				
	周波数	50または60±5%				
	電流歪率	5以下				
	入力力率 (注3)	0.98以上				
交流出力	相数・線数	三相3線				
	定格電圧	200/210/220				
	電圧整定精度	定格電圧±1以内 (注4)				
	定格周波数 (注5)	50または60				
	周波数精度 (注6)	定格周波数±0.1以内				
	商用同期範囲	定格入力電圧±10および定格入力周波数±1以内 (200V又は210V時)				
	電圧波形歪率	線形負荷時 (注3)	2以下			
		整流器負荷時 (注7)	5以下			
	電圧不平衡率 (注8)	±2以内				
	定格負荷力率 (注9)	0.9(遅れ)				
	過渡電圧変動	入力電圧急変 (注10)	±2以内			
		負荷急変 (注11)	±3以内			
		出力切換 (注12)	±3以内			
		整定時間	60以下			
過負荷耐量	インバータ (注13)	125 (10分間)、155 (1分間)				
	バイパス (注13)	200 (30秒間)、800 (2サイクル)				
過電流対策 (注14)	約155%以上にてバイパス回路へ無瞬断自動切換					
運転騒音 (注15)	dB	65以下				
バッテリー	種類	蓄電池				
	バックアップ時間	5~30 (それ以上のバックアップ時間もご提案可能)				
	公称電圧	384 (192セル)				
使用環境	周囲温度: 0~40°C、相対湿度: 20~90% (結露しないこと)					

注1: 定格負荷力率において

注2: IGBT素子採用

注3: 定格運転時

注4: 入力および負荷の変域において

注5: 入力周波数と同じ

注6: 自走発振時

注7: 定格運転時/100%整流器負荷時

注8: 100% 不平衡負荷時

注9: 変動許容範囲: 0.7~1.0(遅れ)

注10: 停電⇄復電時、入力電圧±10%急変時

注11: 0%⇄100%急変時

注12: バイパス→インバータ切換時(定格運転時)

注13: 定格負荷力率において/定格入力時

注14: 定常復帰後オートリターン

注15: 装置正面1m、A特性(線形負荷時)

仕様2

入力設備容量・発生熱量・冷却風量・換気量

項目	単位	FU-T3 *シリーズ			
		FU-T3 300	FU-T3 500	FU-T3 750	FU-T3 1000
定格出力容量	kVA	30	50	75	100
入力設備容量	kVA	33.1	55.2	82.8	110.3
発生熱量	kW	2.1	2.9	4.4	5.8
冷却風量	m ³ /min	11	15	23	30
換気量	m ³ /min	1.5	2.4	3.6	4.8

- 本表の算出条件は、定格負荷力率、小形シール鉛蓄電池(10分間保持)、室温40℃、外気温30℃です。
- 発生熱量・冷却風量は、蓄電池が充電完了後の定格運転時の値です。
- 換気量は、蓄電池を設置した部屋での値です。